

（様式第13号）

大阪市地域公共人材 派遣報告シート

■事務局記入 ■人材記入

派遣通知（団体）No.		派遣人材名 上：登録no 中：派遣通知no 下：名前	13-037	14-010	21-001
			林 久善	金 志煥	栗田 佳典
派遣先（名称）	NPO法人輪母ネットワーク				
派遣計画書の内容	初回ヒアリング		2024年9月5日	3回次 課題・問題点（活動について考える）	
	1回次 ビジョンの共有			4回次 方法・手段（組織ハードから）	
	2回次 ミッションあるべき姿を描く			5回次 方法・手段（ソフトから）	
派遣回次	5回次		派遣日時	2025年3月13日 13:30～15:20	
参加者	地域 4名	人材事務局 3名 2名	区役所 まちセン 名 名	その他（	名 ）
活動内容	<p>●派遣依頼内容</p> <p>団体の組織運営などについて改めて総合的に見直し、運営計画をつくりたい。</p> <p>・法人格(認定NPOへの移行)、資金計画(寄付型団体をめざしての資金計画と会計処理の総合的な見直し)、事務スタッフ(将来的な雇用) など</p> <p>●支援内容・プログラム</p> <p>・方法・手段についてソフトから検討する観点から、前回のふりかえり、ロジックモデル（事業設計図）のたたき台を提示した。</p> <p>・団体内の対話が活発になるように留意しながらファシリテートするとともに、人材の専門性（公認会計士、NGO実践者）の観点からもコメントを挿入しながら対話を運営した。</p> <p>●成果</p> <p>・団体のAさんが他のスタッフにホワイトボードを使って、5月から当面の活動内容と資金計画を示したことにより、団体内に安心感や納得感が生まれ、一体感につながった。</p> <p>・人材が有する専門的なアドバイスが有効に機能した。</p> <p>●今後の予定</p> <p>最終回のため、今後の予定は特段なし。</p>				
所感	登録no.	名前	所感		
			・団体内の意識の違いがどの程度埋まるか？ということが、今回の人材のミッションであったと考える。前回まででその意識の違いを埋めるのに、事前に団体のAさんとの対話の構成を打ち合わせして臨んだ。		
			・各人材の専門性が発揮できたと感じました。		
			・団体内の意識の違いについては、団体のAさんの事業計画の可視化とわかりやすい説明で団体内の不安がある程度払拭されたと思います。フハハ(輪母)の場合は来るものは拒ばず、去るもの追わずの方針で困っている方に寄り添うことができればと思います。		
			・2025年度の計画があることで、まず1年何をするのが明確になった。変化の積み重ねが大切で団体内の想いに耳を傾けながら、団体として、その力を発揮できる体制になってほしい。そのためにも今後もメンバー間でのコミュニケーションが重要だと感じた。		